

令和6年度 学校評価について ～保護者評価・教職員自己評価の結果より～

山形大学附属特別支援学校

1 学校評価全体として

保護者評価について全12項目の各項目の平均値は、小学部：3.3～3.9、中学部：3.4～3.8、高等部：3.2～3.7、学校全体では3.4～3.7となり、多くの評価項目で昨年度より評価平均が高くなりました。また、本校教育に対しての満足度の平均値は小学部：3.9、中学部：3.7、高等部：3.8と全体的に昨年度とほぼ同様な評価が高くなり、保護者の皆様から高い評価をいただきました。

同項目による教職員の評価は3.0～3.4となり、保護者評価より全体的に評価が低い傾向にありますが、昨年度より評価平均値は高くなっており、自信をもち指導・支援にあたる様子が見えます。児童生徒の成長や自身の指導状況を謙虚に振り返り、より厳しく自己評価していると捉えております。

2 各評価項目について

<改善に努め評価できると捉えた項目>

1について

学習のねらいを児童生徒に伝え、自分から学習や活動に取り組むことができる学習内容の設定や教材の工夫を続けてきました。今後も自分から学ぶ意欲を育てていくとともに、日頃から保護者の皆様と成長を共有し、学校で身につけた力を日常生活でも活かしていけるように指導を続けていきます。

8について

日常的には連絡帳や学部通信、学級通信等を通して保護者の皆様と情報共有を進めてきました。「わたしのあゆみ」の様式を見直し、教育懇談時には学習の様子を分かりやすく伝えることに取り組みました。今後も日々の授業の様子や成長を伝える方法を検討していきます。

9について

高等部では、年2回の教育懇談や進路面談を設定し、卒業後の生活を見据えた進路指導を行いました。また、小・中学部においても学部の進路指導計画に沿って発達段階に応じた進路指導やキャリア教育に取り組みました。

進路の手引きの配付、校内掲示板に産業現場等における実習の振り返りや卒業生へのインタビュー等の掲示を通して進路情報を提供してきました。また、進路指導主事を中心に新規の事業所の説明会などに積極的に参加し、進路指導だより等で情報発信しました。卒業後の生活を考える機会としては、総務部と連携し、相談支援事業所や多機能型事業所からの講話、事業所見学など研修会を実施しました。

学校評議員の方からは、卒業後の生活に向けて学校として積極的に情報を発信し、評価できるが、保護者の皆様に必要な情報がきちんと届いているか確認することが大事であるとの御意見をいただきました。

今後も教育懇談や進路面談等で本人、保護者の皆様のニーズを適切に把握し、ニーズに合った情報提供の機会を積極的に進めていくとともに、小学部段階から進路について関心を深め、親子で考えるきっかけとなる取組を続けていきます。

<改善が必要だと思われる項目及び改善案>

4について

一人一人を大切に、生活年齢を意識した関わりや肯定的な言葉掛けを行ってきました。教員自己評価には、言葉遣いについて子供たちの言語環境の一部になっていることを意識すること、保護者の皆様や学生の信頼を損ねないような言葉遣いをするを大事にしていきたいなどの意見もありました。今後も教職員自身の日常的な接し方、言葉遣いなどを振り返りや適切な関わり方への意識をさらに高めていきます。

5について

昨年に引き続き、教職員自己評価が低い傾向にあります。今年度は様式を含め評価の在り方を見直しました。一人一人の教育的ニーズに応じた指導の工夫、担任外の教員との連携、個別の教育支援計画と個別の指導計画の在り方についての課題が出されました。また、保護者の方からも、実態に応じた学習活動への取組についての意見が出されました。

個に応じた指導について保護者の皆様と教員間の連携をさらに深め、よりよい指導の在り方を追求していくとともに、その根拠となる個別の教育支援計画等、各種計画の質を高める努力をしていきます。さらに、児童生徒の実態を丁寧に把握し、「何を学ぶのか」「どんな力を身につけさせたいのか」を明確にした授業づくりに努めていきます。

11について

今年度は創立50周年を迎え、創立記念式をはじめ、ふれあい運動会やふれあい学習発表会など授業参観の機会を多く設定し、子供たちの学習の成果を参観いただきました。

子供たちも、児童生徒会を中心にあいさつ運動や各種委員会の取組など「笑顔あふれる学校」「元気な学校」「明るい学校」づくりを進めてきました。

安心・安全な学校を目指し、今年度は避難訓練の前などにその都度危機管理マニュアルを再確認し、実際の動きを想定して見直しました。また、地震、火災、不審者対応など年4回の避難訓練を実施し、事前指導や事後指導においても「自分の命は自分で守る」ということを発達段階に応じて指導してきました。

来年度は今年度の避難訓練に加え、近年の災害等を受け、引き渡し訓練の実施や風水害や犯行予告等のマニュアルの整備など、さらに安心・安全な学校づくりを目指していきます。

その他

<地域への情報発信について>

本校の教育活動を地域に発信し、関心や理解をもっていただく取組を進めてきました。関係機関を対象としたものとは別に、10月には幼稚園・保育園の年中、小学5年、中学2年生、教育関係者を中心としたオープンスクールを新たに実施し、多くの方に参加いただきました。参会者からの評価やニーズも高く、来年度はさらに地域の方や企業向けの学校見学会を検討していきたいと考えています。

これまでホームページ等でお知らせや教育活動について情報を発信してきました。令和7年1月に新たにインスタグラムを開設し、日常的な教育活動を発信することとしました。フォローしてくださる方が少しずつ増え、学校のことを知っていただく良いツールとなっております。本校を理解いただく情報ツールとして広く周知していくとともに、今後も日常的な投稿に努めていきます。

また、今年度は各学部の学習において、近隣の蔵王地区とのつながりを大切にしたい取組を進めてきました。高等部作業グループのクリーン班での定期的な蔵王コミュニティセンターの清掃やぐっと山形などの清掃活動、中学部社会科での地域のサークル活動への参加、小学部の町探検など積極的に地域に出向いて学習しました。

高等部の総合的な探究の時間では、地域にできることや地域をよくするためにといったテーマで学習を進めました。飯田地区の方々との西成沢公園の清掃活動や学校評議員の方に来校いただき自分たちが考えたことについてアドバイスをいただいたり、自分たちが考えたことを地域の方々に報告したりして地域とのつながりをさらに広げる取組を進めました。来年度も地域とのつながり、連携を大切に、本校の教育活動についての理解を深めていただけるように積極的に発信していきます。

<地域のセンター的機能として>

来年度は特別支援学校のセンター的機能として相談、地域支援の機能を果たすべく、地域の小・中学校等の教員も含めた研修会の開催や教育相談などした外部支援にも力を入れていきます。学校評議員の方々からも、本校の使命として、この地域の特別支援教育の専門性向上に対する取組を積極的に行ってほしいとの意見が出されました。

また、学校研究では、今年度より新たに主題を「児童生徒が自分と学びをつなぎ、よりよい自分へ向かう授業づくり」と設定し、研究を進めております。2月の学習指導研究協議会では、北海道から沖縄まで200名近い方に参加をいただくなど、改めて本校の学校研究への関心の高さが示されました。今後も本校の使命を果たすべく、先進的な取組に努め、県内外への取組の発信を行っていきます。

令和6年度 学校評価について ～保護者評価・教職員自己評価の結果より～

山形大学附属特別支援学校

1 学校評価全体として

(1)保護者・教員評価より

評価項目	学部	4	3	2	1	R06	R05
		大変良い	良い	不十分	かなり不十分	平均値	平均値
1 お子さん(児童生徒)は、自分から学習や活動に取り組もうとしている。	小	33%	60%	7%	0%	3.3	2.8
	中	50%	36%	14%	0%	3.4	3.4
	高	57%	38%	5%	0%	3.5	3.3
	全体	48%	44%	8%	0%	3.4	3.2
	教員	26%	74%	0%	0%	3.3	3.2
2 お子さん(児童生徒)は、友達や先生方とのかかわりを楽しみに活動している。	小	80%	20%	0%	0%	3.8	3.6
	中	64%	36%	0%	0%	3.6	3.5
	高	63%	26%	11%	0%	3.5	3.6
	全体	69%	27%	4%	0%	3.6	3.6
	教員	39%	61%	0%	0%	3.4	3.6
3 お子さん(児童生徒)は、いろいろな人とかかわりながら役割(ルーティーンや係活動など)や日常生活のお手伝いに取り組もうとしている。	小	53%	40%	7%	0%	3.5	3.5
	中	50%	36%	14%	0%	3.4	3.3
	高	58%	37%	5%	0%	3.5	3.2
	全体	54%	38%	8%	0%	3.5	3.3
	教員	26%	74%	0%	0%	3.3	3.2
4 教員は、適切な接し方や言葉掛けを行っている。	小	79%	21%	0%	0%	3.8	3.9
	中	71%	21%	0%	7%	3.6	3.7
	高	50%	36%	14%	0%	3.4	3.4
	全体	67%	26%	5%	2%	3.6	3.6
	教員	21%	71%	8%	0%	3.1	3.0
5 教員は、お子さん(児童生徒)は、一人一人に応じた指導・支援を行っている。	小	87%	13%	0%	0%	3.9	3.8
	中	67%	27%	7%	0%	3.6	3.6
	高	58%	37%	5%	0%	3.5	3.5
	全体	69%	27%	4%	0%	3.7	3.6
	教員	13%	70%	17%	0%	3.0	3.1
6 教員は、お子さん(児童生徒)にとって学びたいと思う学級づくりに取り組んでいる。	小	80%	20%	0%	0%	3.8	3.9
	中	71%	29%	0%	0%	3.7	3.8
	高	67%	30%	4%	0%	3.6	3.5
	全体	71%	27%	2%	0%	3.7	3.7
	教員	39	61	0%	0%	3.4	3.3

	評価項目	学部	4	3	2	1	R06	R05
			大変良い	良い	不十分	かなり不十分	平均値	平均値
7	教員は、お子さん(児童生徒)の生活習慣や健康管理についての相談に丁寧に対応している。	小	81%	13%	6%	0%	3.8	3.6
		中	75%	25%	0%	0%	3.8	3.8
		高	55%	40%	5%	0%	3.5	3.5
		全体	69%	27%	4%	0%	3.6	3.6
		教員	30	70	0%	0%	3.3	3.1
8	教員は、学習状況についての情報提供を十分に行っている。	小	87%	13%	0%	0%	3.9	3.9
		中	64%	29%	7%	0%	3.6	3.6
		高	68%	32%	0%	0%	3.7	3.6
		全体	73%	25%	2%	0%	3.7	3.7
		教員	31%	65%	4%	0%	3.3	3.2
9	教員は、卒業後の生活に向けての学習、情報提供を十分に行っている。	小	73%	27%	0%	0%	3.7	3.6
		中	50%	36%	14%	0%	3.4	3.4
		高	63%	21%	16%	0%	3.5	3.2
		全体	63%	27%	10%	0%	3.5	3.4
		教員	22%	78%	0%	0%	3.2	3.0
10	笑顔あふれる元気な学校になっている。	小	79%	21%	0%	0%	3.8	3.8
		中	71%	29%	0%	0%	3.7	3.6
		高	74%	21%	5%	0%	3.7	3.5
		全体	74%	23%	2%	0%	3.7	3.6
		教員	30	70	0%	0%	3.3	3.3
11	明るく安全な学校になっている。	小	87%	13%	0%	0%	3.9	3.9
		中	71%	29%	0%	0%	3.7	3.8
		高	63%	26%	11%	0%	3.5	3.6
		全体	73%	23%	4%	0%	3.7	3.7
		教員	35%	65%	0%	0%	3.3	3.3
12	信頼できる教師集団である。	小	93%	7%	0%	0%	3.9	3.9
		中	64%	29%	0%	7%	3.5	3.7
		高	68%	26%	5%	0%	3.6	3.6
		全体	75%	21%	2%	2%	3.7	3.7
		教員	48%	48%	4%	0%	3.4	3.3
本校の教育に満足していますか。	学部	満足	やや満足	やや不満	不満	R06	R05	
	小	87%	13%	0%	0%	3.9	3.9	
	中	71%	29%	0%	0%	3.7	3.6	
	高	74%	21%	5%	0%	3.7	3.5	
	全体	77%	21%	2%	0%	3.8	3.7	